

SID R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第2巻第30号

第30週(7月22日～7月28日)

発行年月日:平成14年(2002年)8月6日

発行:滋賀県立衛生環境センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (30週)	累積報告数 (1週～30週)	平成13年 報告数
1類感染症	報告なし	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	4	4
	パラチフス	0	1	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	4	44
4類感染症	アメーバ赤痢	1	5	5
	エキノкокクス症	0	1	0
	急性ウイルス性肝炎	0	2	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	0
	後天性免疫不全症候群	0	2	6
	ジアルジア症	0	0	1
	ツツガムシ病	0	0	2
	梅毒	0	3	6
	レジオネラ症	0	0	1

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	30週	増減	24週～29週
インフルエンザ	0		0.01
咽頭結膜熱	0.78		0.74
A群溶連菌咽頭炎	0.59		0.60
感染性胃腸炎	1.41		2.75
水痘	1.38		2.23
手足口病	2.78		0.80
伝染性紅斑	0.09		0.37
突発性発疹	0.75		0.67
百日咳	0		0.02
風疹	0		0.01
ヘルパンギーナ	3.38		1.12
麻疹	0.03		0.02
流行性耳下腺炎	0.94		1.06
急性出血性結膜炎	0.14		0
流行性角結膜炎	0.57		0.41
急性脳炎	0		0.02
細菌性髄膜炎	0		0
無菌性髄膜炎	1.43		1.62
マイコプラズマ肺炎	0.43		0.24
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

* 増減は、平成14年24週～29週の平均に対する今週との比較
増加 減少 変化なし

* 太字は、今週の注目される疾患です。
全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。
(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)

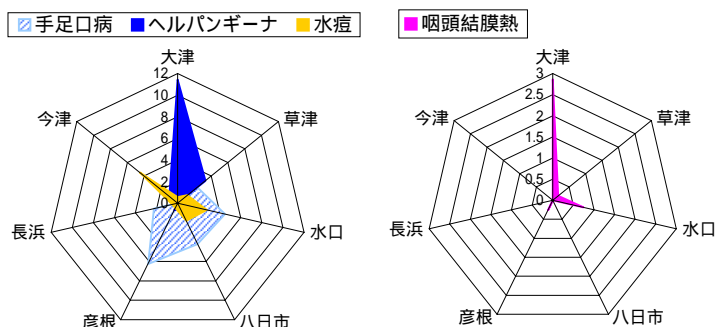
3) 今週のトピックス

手足口病、ヘルパンギーナ、水痘の発生に地域的な偏り 咽頭結膜熱の発生に地域的なひろがり

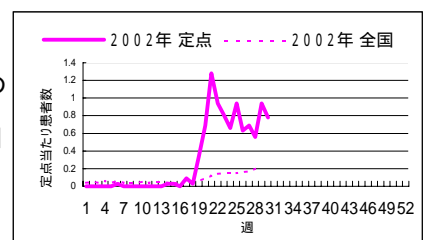
滋賀県における定点当たり患者数について、平成14年24週～29週の平均と平成14年の30週を比較すると、咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナ等に増加傾向がみられます。

咽頭結膜熱は、先週までは大津保健所管内でのみ報告されていましたが、今週は他の保健所管内からも報告されています。また、**無菌性髄膜炎**の定点当たり患者数は1.43となっており、やや減少傾向を示していますが、全国の報告数よりはかなり高くなっています。また、**水痘**の県全体としての定点当たり患者数は減少傾向となっていますが、今津保健所管内では4.50と高くなっています。各疾患の発生状況は下記のグラフのとおりです。

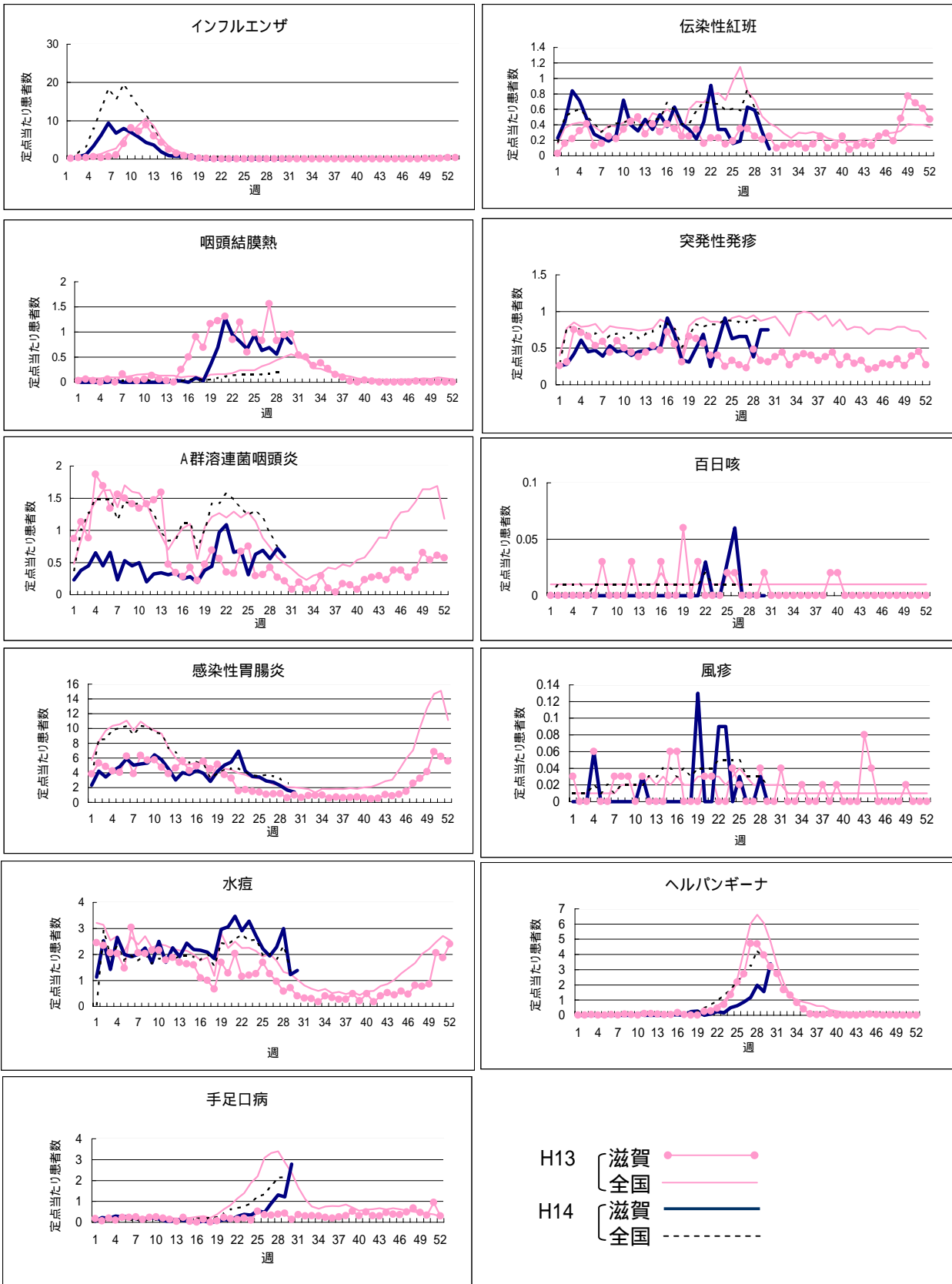
疾患別・保健所別発生状況



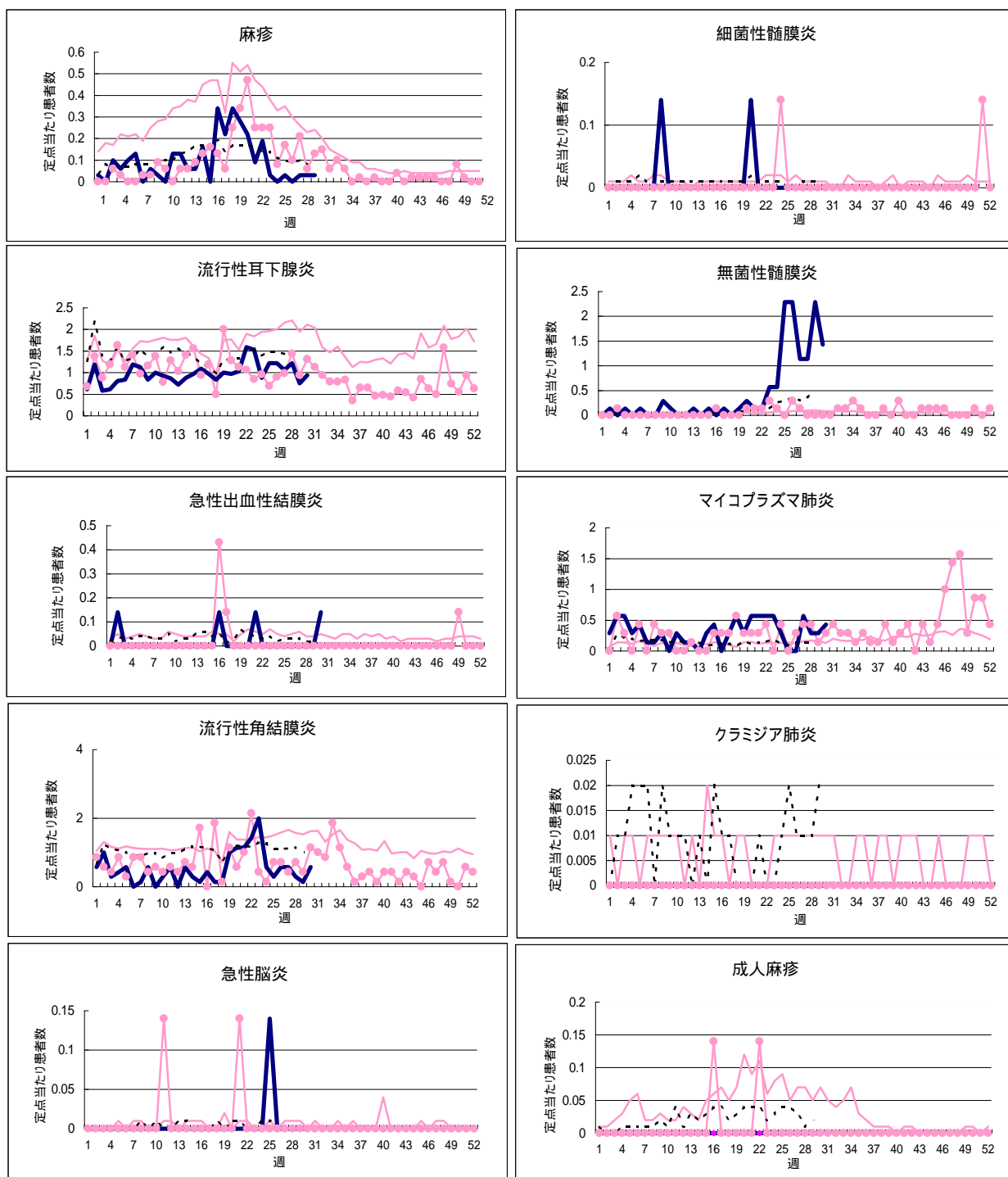
手足口病、ヘルパンギーナ、水痘の発生状況は、全国と同様の増加傾向を示しています。しかし、咽頭結膜熱については全国よりかなり高い報告数となっています(右記グラフ参照)。



疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第30週)



疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第30週)



H13	{	滋賀	—●—
		全国	- - -
H14	{	滋賀	—■—
		全国	- - -